

暑中お見舞い申し上げます。皆様お元気ですか？

労務協会からのお知らせ

★7月1日経産省より「デフレの進行と企業行動に関する調査」が発表されました。

経済産業省より今年1～2月上場・店頭公開企業3,549社（回答950社）にデフレ下における企業経営の諸問題についてアンケート調査した結果が公表されています。

<http://www.meti.go.jp/press/20050701001/20050701001.html> で見る事が出来ます。

デフレについて「まだ終息していない」が77.4%で、「終息した」と答えた80.8%の企業も昨年になって終息したと答えています。依然、デフレが続いているという見方が大多数です。

今後の対応を考えると、参考になるのが「デフレ継続時に必要な対策」への回答です。以下ベストテンを挙げておきます（労務管理に関するものは□）。

①雇用形態の変更(34.2%) ②国内の取引先の見直し(新規の開拓)(34.0%) ③国内の取引先の見直し(既存の取引先の集約)(30.6%) ④海外の取引先の見直し(新規の開拓)(19.7%) ⑤残業の削減(19.6%) ⑥流通段階の削減(18.5%) ⑦借入金の早期返済による金利コストの削減(18.1%) ⑧国内拠点の統廃合(17.8%) ⑨部品の共通化(15.8%) ⑩給与体系の見直し(賃金カーブの見直し)(15.1%)

また、デフレの結果2003年～2004年について「売上高が上がった」と回答する企業は47.6%と「下がった」(21.2%)と回答する企業を大きく上回っており、その理由として「需要好調で販売数量増加」(49.1%)「競争力強化で販売数量増大」(28.5%)と、価格低下をカバーするだけの数量を確保できている企業が多いという結果が出ています。

★労災事故が起こったら

大型連休明け(1・5・8月)は、労災事故の連絡が多いです。十分安全に気を配ってください。万が一、労災事故が起きた場合の流れを確認しておきます。

- ① まずは、労災の指定病院で受診してください。
- ② 受診の際、「工作中的ケガ」ということを病院に伝えてください。
- ③ 病院からは労災の書類(一般に「5号」と言われる書類です)を提出するよう言われます。
- ④ 労務協会に次のことをご連絡ください。「5号」を作成し病院に提出します。
 - (ア) ケガをした方のお名前・住所・生年月日
 - (イ) 労災事故発生日時と、原因・発生状況(1どこで 2どんな作業をしているとき 3どんな物・機械等で 4どんな原因となる状態があって 5どのような事故が発生したか)
 - (ウ) 受診した病院と受診日時
 - (エ) 現認者(事故を一番早く知った従業員)または報告を受けた方
- ⑤ 労災は、治療費は全額労災保険から出ますので、自己負担はありません。
- ⑥ 病院を変更する場合は、医師の指示を受けてください。変更後の病院に書類(「6号」)を出しますので、必ず労務協会にご連絡ください。

<編集後記>「新卒者紹介予定派遣」についてテレビで取り上げられていました。ミスマッチで3年以内の新卒離職率が35%以上という現状を改善するための試みで、派遣期間中に仕事の内容、会社の雰囲気、適正等を見極め、企業と新卒者の双方が合意すれば本採用となる仕組み。会社にとって、優秀な若者の確保・育成は大きな課題だと感じました。(神谷 恵子)